

# 2023年度 株主との対話実施状況等

---

# 2023年度 株主との対話実施状況等 (1/3)

## 【対話・フィードバック概要】

項目	状況
主な対応者	経営層： 社長、副社長（CFO、経営戦略本部担当役員）、社外取締役等 事務局： 経営戦略本部CSR推進グループ（機関投資家対応）
対話株主 （概要）	<b>国内外機関投資家等に対して以下を実施</b> <b>個別面談</b> ：機関投資家（国内：102件、海外：53件）、アナリスト等44件 （ファンドマネージャー、ESG担当、議決権行使担当者など） <b>決算・経営計画説明会</b> ：4回（国内・機関投資家） <b>見学会・事業説明会等</b> ：4回（国内・海外機関投資家）
フィードバック実施状況 （経営会議）	・取締役会：年1回株主の声をフィードバック ・その他：社外取締役との対話内容等、実施毎に取締役会でフィードバック

# 2023年度 株主との対話実施状況等 (2/3)

## 【対話の主なテーマ、株主の関心事項】

項目	関心事項
<b>経営戦略 ・資本政策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○収益力強化、資本効率（ROE、ROIC等）向上重視の姿勢</li> <li>○PBR向上に向けた取り組み</li> <li>○株主還元に対するスタンス</li> </ul>
<b>財務関係</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一時的な収支変動要因を除いた各セグメントの実力利益水準 ミライズ：お客さま負担軽減策の位置づけおよび方向性、電源調達PF構築力（市場リスク抑制等） PG：需給調整費用、インフレ・金利上昇影響への対応 JERA：実力利益と今後の資本形態等</li> <li>○戦略的投資の進捗・収支影響</li> <li>○浜岡原子力発電所の再稼動に向けた進捗状況</li> </ul>
<b>ESG</b>	<p style="text-align: center;"><b>E</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○脱炭素目標達成に向けた具体的情報の開示（工程・KPI・CO2削減貢献量等）</li> <li>○気候コンピテンシーにおける開示充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>－スキル・マトリックス充実化（環境スキルの考え方の説明、環境スキル認定の基準の開示等）</li> <li>－その他環境に係る知見の記載充実等（略歴等）</li> </ul> </li> </ul>
	<p style="text-align: center;"><b>S</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性取締役・管理職比率向上に向けた取組</li> <li>○人財戦略の方向性・取り組みの進捗</li> </ul>
	<p style="text-align: center;"><b>G</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○独禁法関係等のコンプライアンス事象を踏まえたガバナンス強化・定着の進捗</li> <li>○実効性評価における取組み・開示の充実</li> </ul>

# 2023年度 株主との対話実施状況等 (3/3)

## 【対話を通じた改善事項】

項目	改善事項
資本効率性 指標	○中期経営計画（2022年4月公表）において、経営目標にROIC指標を導入 ○PBR向上に向けた現状分析・取り組みの方向性を開示
株主還元	○株主還元の充実（増配の実施）
脱炭素化に係る 開示	○TCFD開示について、2019年に賛同し、2020年より開示 ・資本市場の声を踏まえ、開示先進事例等も確認しつつ、定量的・具体的な開示充実に注力 ・GXリーグへの参画に伴う目標設定（短中期目標） ○取締役業績連動報酬の評価項目へのCO <sub>2</sub> 排出量削減目標達成度合いの組込
スキル・ マトリックス	○2022年度よりスキル・マトリックスに環境スキルを追加（「電力供給・環境に資する技術」） <a href="#">（第100期定時株主総会招集通知 P.22）</a>
ガバナンス	○コンプライアンス徹底策および強化策の策定・開示 および施策定着に向けた取組み進捗状況開示
社外取締役 との対話	○資本市場からの社外取締役との対話要請に基づき、個別面談を実施 （参考）2024年度においても、議決権行使に係る対話に社外取締役が対応